

磐城時報

第九十号
日刊
昭和二年五月二十日
印刷部 印刷
編輯部 編輯
發行部 發行
電話 一四二五
代價 一月一元二角 三月三元五角 半年六元 一年十二元
廣告料 一行一十字一日一角五分 五日一元 十日二元 一月三元 三月七元 半年十二元 一年二十元
（日曜、祭日）休刊

入山の爭議團

けふ午後解散式

加藤勘十氏談

湯本町入山炭礦の爭議團員百餘名が、今日午後八時、入山爭議團員名が警官に反抗し、檢束された。然し理論論闘以來、同町裏町の本部には居残り争いから見て無意義な敗北ではなからぬ。同町裏町の本部には居残り争いから見て無意義な敗北ではなからぬ。同町裏町の本部には居残り争いから見て無意義な敗北ではなからぬ。

湯本町入山炭礦の爭議團員百餘名が、今日午後八時、入山爭議團員名が警官に反抗し、檢束された。然し理論論闘以來、同町裏町の本部には居残り争いから見て無意義な敗北ではなからぬ。同町裏町の本部には居残り争いから見て無意義な敗北ではなからぬ。同町裏町の本部には居残り争いから見て無意義な敗北ではなからぬ。

名残り

湯本町入山炭礦の爭議團員百餘名が、今日午後八時、入山爭議團員名が警官に反抗し、檢束された。然し理論論闘以來、同町裏町の本部には居残り争いから見て無意義な敗北ではなからぬ。同町裏町の本部には居残り争いから見て無意義な敗北ではなからぬ。同町裏町の本部には居残り争いから見て無意義な敗北ではなからぬ。

内郷村綴

なる日本坑夫築に就ては此程指令に接した。組合常務地方聯合會事務所にて舊校舍北に隣接せる敷地に建築の爭議は十九日正午を以て終結した。十九日午後一時から本部加藤勘十氏等湯本町裏町の爭議團本部に集合の上入山爭議團解散式を行ひ、今日までの経過を記した。解散の宣言書を發表した。

自動車が増へて

交通事故頻發

最近平町を中心として自動車運行の増加せる事は實に目ざましきものである。最近平町を中心として自動車運行の増加せる事は實に目ざましきものである。最近平町を中心として自動車運行の増加せる事は實に目ざましきものである。

收監者二十七名

更に峻厳な取調べ

爭議團騷擾事件のその後

湯本町入山炭礦の警官に反抗した。同時に來平した島倉正三郎、小泉平の各検事、水谷四倉、渡邊浪江、大久保富岡各應援署長、平野小野、片寄各警部補等不眠不休の取調べを續けてゐるが、罪名により平刑務所に收容され、外五名を筆頭に毎日七八名に達し十九日午前十時迄二十七名に及んだ。更に峻厳なる取調べを遂行してゐるから全部を調べ抜いた。山炭礦第五坑坑夫加藤常吉（四）は十七日午後第五坑人道を歩行中落盤のため重傷を負ふ。

小野圓次郎氏逝く

平町長橋町小野圓次郎氏は十九日午前零時十分急性狭心症にて永眠したが、享年六十一才、氏は前平町會議員の外地方名望家にして、その死を惜しまれてゐる。向は葬儀日は未定なるも、平町長橋町性源寺に於て佛式を以て埋葬執行する筈である。

落磐で負傷

湯本町入山炭礦第五坑坑夫加藤常吉（四）は十七日午後第五坑人道を歩行中落盤のため重傷を負ふ。

どんな酒も良いか

平稅務署で選定法を作り

希望者には配布する

石城地方炭礦労働者中ではアルコール中毒に侵されるもの相當多數に達してゐるが、かうした中毒は労働階級には大抵つき物らしく過日炭城縣日立鐵山では平稅務署に酒の選擇法について指導を乞ふて來たので、同署署長は去十六日草案を作つて之に回答した。現在、礦山側では之

東京電話

自動車を

列車が轢く

六名即死

警女コート開き

新舞子を改稱せよ

童謡

公人私人

童謡

童謡

童謡

童謡

童謡

童謡

童謡

童謡

童謡

童謡

童謡

童謡

童謡

童謡

童謡

磐城高女

修學旅行通信

(第五信) 關西旅行團
 東本願寺に参拝しました。平和の使で、鳩が太い圓柱の間を縫つて飛び交はして居ます。神前にひざまづいた時、そとに懐古の情にうたれたました。護王神社に立ちよつて古の宮城、御所に参りました。黄色のタンポ、が一面に咲いて、目にしみる程でした。エメラルドグリーンに染められた木陰を通り電車に乗りました。八瀬より、ケープルカーにのり、たどろしい程傾斜した山を氣持よくのぼりました。頂上から見下した景色は、霧の中をのぞいてゐる様だかすかにうすれてゐる琵琶湖の水色の空と合する。彼方も夢より淡く幻の様な竹生島も、その姿を空と水との間にうかべて美しう大和を思はす様にみえてゐました。叙山より、りて汽船にのり琵琶湖を渡つて石山寺にもうでました。緋の袴をついで月の下に書をつ

もとく紫式部の清整な、そして冷冽な面影が、この石山寺のある一角に存在してゐるのではないかどうかがはれませんでした。石山寺見學も終つて又汽船にのりました。水はあくまでも美しく濃き青色の所々に高くもり上つて白く光る小波の様子も可愛らしいものでした。一二群のしのかたまりが天をつく様に勢よくのびて川風がすかにゆれてゐるのも、しほ風情がありました。いよいよ夜せんとする夕陽が、いよいよ燃えくるひながら西山に次第に姿をかくして行く。磯津につきました。地上も湖上もたそがれの薄明の中に沈んでゐました。夕日に輝いた湖面を蒸気船が二ツ三ツ小さく黒煙をはいて通つてゐました。たそがれのたそがれや水色の空に、桃色の月がのびる様に笑つてゐるのも、随分優美でした。三井寺にたどり着いて旅館についたのです。

東京株式清算取引高高低表

◎第一部		◎第二部		◎第三部	
東株(當)	一四七九	日新	一三九三	日新	一三九三
先(中)	一四八四	日新	一三九三	日新	一三九三
先(當)	一四八四	日新	一三九三	日新	一三九三
先(中)	一三七八	日新	一三九三	日新	一三九三
先(當)	一三七八	日新	一三九三	日新	一三九三
先(中)	一三七八	日新	一三九三	日新	一三九三
先(當)	一三七八	日新	一三九三	日新	一三九三

日光方面から

三時半頃雨が降つておりましたが、五時半頃雨は止まりました。雨は止んだと叫んだので、私達は思はず喜びの聲を上げました。雨戸を明けると朝の光がパツと部屋にさしこんで来て皆んなの顔は喜びの色に満ちてゐました。八時頃霧降の瀧を見るために板穴川の上流に向ひました。途中の景色も綺麗でした。やがて目的の地につき大岩に腰かけてあたりを眺めました。

東京商品取引

(五月十九日前場)

綿	一節	二節	三節	四節
五限	一三九三	一三九三	一三九三	一三九三
六限	一三九三	一三九三	一三九三	一三九三
七限	一三九三	一三九三	一三九三	一三九三
八限	一三九三	一三九三	一三九三	一三九三
九限	一三九三	一三九三	一三九三	一三九三

宮あたりから少し雨が降りましたがそのうち晴れてしまいました。行く時に引かへ歸りは汽車が混んで困りました。郡山で乗りかへ汽車はすんすん走つて故郷に近づき私達はもう家についた様な氣持でした。黄昏はだんたんとしよせ真赤な夕日は西山にとかくれて空は薄墨色に暮れて行く頃なつかしい私達のふるさとに着きました。驛夫の聲、プラットホーム、すべてがなつかしく私達の胸にしみこみかけて嬉しく思ひました。

午前民報山田氏警察署に顔を出す。暫らく経つたら、最近來任した橋矢田部長、山田氏に向ひ用が済んだら歸り給へ……と確か争議團員に差入れにでも来たものと考へたらしい。

大和田眼科
 耳鼻咽喉科
 電話一七〇番

松村病院
 内科 専門
 婦人病 淋病 腸十二指腸病
 電話一七〇番

春着大出賣
 モスリン着尺とセールとネル羽二重片側帯地 春柄提供!!
 店員募集 女店員募集 事務員募集
中野野吳服店

原齒科医院
 平町土橋通り 電話三一三番

高久病院
 内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科
 院長 高久忠 電話一三五

磐城病院
 内科、外科、婦人科、小兒科、花柳病科
 入院隨意 電話一四番

御座敷職ト
 武者人形ハ
 久月特製品ノヨクテ安イ
 平町三丁目
金太郎玩具店

ツヤ洋品店
 小供麥帽 婦人洋傘
 種々御覽 採取下
 電話一四番

學生服大特價
 霜降小倉小學用
 六才位 八才位 十才位
 一〇才位 一三才位
 二〇才位 二五才位
 中 學 用
 二圓二十錢ヨリ各種
なかや洋服店
 平町三丁目(電話二〇三)